

米州開発銀行が発行するサステナブル・シティ・ボンドへの投資について  
～新型コロナウイルス感染症により打撃を受ける地域への支援～

日本生命保険相互会社（社長：清水博、以下「当社」）は、この度、国際開発金融機関の米州開発銀行（Inter-American Development Bank、以下「IDB」）が発行するサステナブル・シティ・ボンドに 1.4 億豪ドル（約 104 億円）投資しました。なお、サステナブル・シティ・ボンドの発行は IDB にとって初めてであり、当社にとっても初めての投資となります。

IDB は 1959 年に設立された国際開発金融機関であり、南北アメリカ大陸に加え、日本や欧州など 48 の加盟国により構成されています。IDB は貧困と不平等を減らす持続可能な取り組みを支援することで、中南米・カリブ諸国の生活の質を向上させることを目指しており、「持続可能な開発目標（SDGs）」達成に向けて取り組んでいます。

サステナブル・シティ・ボンドは、持続可能なまちづくりを目的とする債券で、調達した資金は、中南米・カリブ諸国における都市部の居住環境や上下水道の改善、公衆衛生の観点でも重要となる過密な生活環境の緩和、女性向け住宅取得支援策を通じたジェンダー格差の是正、低所得者向け低炭素住宅<sup>\*</sup>の建設などの取り組みに活用されることにより、SDGs の一項目である「住み続けられるまちづくりを」に寄与します。当社は、サステナブル・シティ・ボンドへの投資を通じて安定収益を確保するとともに、投資資金が持続可能な社会形成の一助となること、および、新型コロナウイルスによる打撃を受ける当該地域への支援となることを期待しています。

※二酸化炭素の排出の抑制に資する住宅

当社は、環境や地域・社会と共生し、経済・企業と安定的な成長を共有していく観点から、環境問題の解決や社会貢献に資する ESG 投融資を積極的に実施しており、SDGs の達成に貢献するサステナブル・シティ・ボンドへの投資もその一つと位置付けています。

今後も、社会公共性・投資採算性を踏まえ、ESG 投融資を推進することで、ご契約者利益の一層の拡大に努めるとともに、持続可能な社会の形成に貢献してまいります。

<サステナブル・シティ・ボンドの概要>

名称	サステナブル・シティ・ボンド
発行体	米州開発銀行（IDB）
当社投資額	1.4 億豪ドル（約 104 億円）

< IDBによるSDGs達成に向けた取り組み例 >

■ ウルグアイ：都市部の居住環境・生活の質の改善

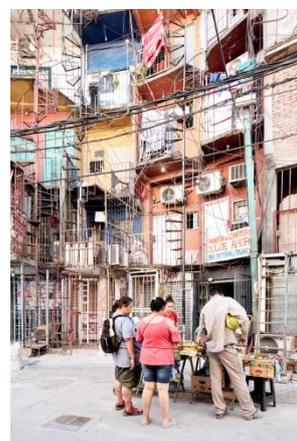
IDBは、ウルグアイにおいて、都市部の居住環境・生活の質の改善と、女性の住宅取得支援を通じた格差是正を目指すプロジェクトへの融資を2008年から行っています。これまで、2億米ドルの融資を実行し、約11,000世帯の生活の質の改善に貢献しています。今後、ヒートアイランド対策として緑地を増やすことや、エネルギー効率の良い住宅建設等にも取りかかる予定です。



(出典：IDB)

■ アルゼンチン：低所得者の生活の質向上と温室効果ガスの削減

アルゼンチンでは、急速な都市拡大を背景とする住宅不足や、住居の高いエネルギー消費等の問題に直面しています。そのような状況を踏まえ、IDBは低所得者向けに、再生可能エネルギーも活用したエネルギー効率の高い低炭素住宅を提供するため、その設計・建設・運営に関する規制やガイドラインの策定を支援し、生活の質の向上と温室効果ガスの削減を目指すプロジェクトへの融資を行っています。



(出典：IDB)

< 今回の案件と関係の深いSDGs目標 >

目標11：住み続けられるまちづくりを

都市と人間の居住地を包摂的、安全、レジリエントかつ持続可能にする



以 上